

2024 年度日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック第 1 回議員総会 議事録

開催日時	2024 年 7 月 30 日（火）20:00～21:00
開催場所	ZOOM 会議
議事進行	大西 弘高支部長
議長	飯島 研史先生
記録	関東甲信越ブロック支部事務局
内 容	
<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 本日の議員総会の定足数について、投票権を持つのは、学会代議員数 280 名、その他役員 18 名、専攻医部会幹事 1 名で計 299 名。現在 Zoom の出席者 52 名、提出された委任状が 60 通であったため、関東甲信越ブロック支部規約「第 24 条 議員総会定足数」の開催の条件（代議員総数の 3 分の 1 以上）を満たしている。 <p>2. 支部長挨拶（大西ブロック支部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 大西支部長より、都県連絡委員会の開催報告がなされた。支部長選出選挙の結果、大西支部長が選出されたこと、都県連絡委員会体制について報告された。 ➤ 関東甲信越ブロック支部の活動方針概要が示された。 <p>3. 議長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 飯島 研史先生が立候補され、議長に選出された。 <p>4. 協議事項</p> <p>議題 1：2023 年度決算</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 大西支部長より収入、支出についての説明がなされた。謝金の源泉所得税については、次年度より租税公課の項目ではなく、若手医師補助活動費謝金に含めた形で作成する。会計監査は、7 月 9 日にオンラインで実施し、適正であることが確認された旨、山田監事より報告された。 <p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特に議論なく承認された。 <p>議題 2：2024 年度特別支援事業案</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 改めて予算計上の上、事業を募集し、ブロック支部役員会にて選考・決定する方針とすることが説明された。 <p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特に議論なく承認された。 	

議題3：都県連絡委員会の体制

- 関東甲信越ブロック支部と都県連絡委員会の関係性について、説明された。昨日開催された都県連絡委員会における議論をふまえて、都県支部間の意見交換の場として、新たに委員長を決めて活動を行っていくことが提案された。また、委員長候補として、藤沼東京都支部長が提案された。

質疑

- 委員長選出のプロセスについて
都県連絡委員会の互選で決定する。ブロック支部長は、オブザーバーとして関わる。
- その他異議はなく承認された。

議題4：その他

- 特になし

5. 報告事項

議題1：支部役員を選任

- 大西支部長より、支部長選任・支部役員を選任のプロセス、今期の支部役員体制について報告された。

議題2：2024年度予算

- 収入は前期繰越金+学会本体からの助成金。特別支援事業費の余剰分が返金されている。支出は、研修会費は例年通り。各都県支部補助金は、前年度以前の積み増し分が含まれる。特別支援事業費、若手医師補助活動費も例年通り計上。新専攻医オリエンテーション助成金は、本部負担となったため予算計上はしていない。管理費はおおむね例年通りの予算案となる。
- 議員総会終了後、各都県支部へ2023年度活動報告提出を依頼し、助成金支払いを行う予定。

議題3：第12回地方会報告

- ライブ配信と事後オンデマンド配信形式で開催し、有料参加者数は324名、発表演題は34題であった。収支差額は-158,117円となり、ブロック支部で負担する。

議題4：2023年度特別支援事業報告

- 藤沼東京都支部長より、首都圏家庭医療教育者の会の活動報告がなされた。
 - ◇ 10月1日に第1回、2月18日に第2回ワークショップを開催、2月21日に他職種講演会、3月26日に東京都支部共催の講演会を開催した。ワークショップはOff-JT単位（教育）を取得できる場として、ニーズがあることがわかった。会計としては、事務委託費、謝金での支出が主である。参加者の半数ほどは支部所属者で、遠方からの参加者も有り。支部に還元出来ている取組みだと考えられる。

議題 5・6：2023 年～2024 年度特別支援事業報告／専攻医オリエンテーション報告

- 専門研修支援委員会の原田委員より、2024 年度専攻医オリエンテーションは、4 月 20 日に開催、参加人数は 67 名（専攻医数は 30～40 名ほど）。継続支援企画は 2024 年 5 月 19 日に第 1 回、7 月 28 日に第 2 回を開催、11 月 24 日に第 3 回を開催予定である旨、報告された。参加できなかった専攻医へのフォローについて、検討する。
 - ◇ 大西支部長より、専門研修支援事業の運営メンバーから関東甲信越ブロック支部幹事（専門医部会）を選出いただくと、事業運営もスムーズになるのでは、との意見が出された。
 - ◇ 藤沼東京都支部長より、この事業のネットワークを通じて、専攻医リクルート企画のアイデアが出され、初期研修医や学生へのアプローチ方法について意見交換がなされた。

議題 7：第 13 回地方会の進捗

- 大西ブロック支部長より、栃木県支部主幹で、12 月 1 日にライトキューブ宇都宮にて対面式で開催予定である旨報告された。テーマは「仲間と創るジャムセッション～VUCA 時代のプライマリ・ケアを考える～」

議題 8：第 14 回地方会について

- 現状は白紙状態。次回議員総会で正式に承認が必要なので、それまでに手挙げを募る。

議題 9：各県支部活動報告

- 茨城県支部：計 6 回保健医療福祉に関する勉強会を開催。今年度も同様に勉強会を開催予定だが、世代交代が課題である。
- 栃木県支部：栃木プライマリ・ケア研究会を支部の下部組織と位置付けて、3 か月ごとに研究会を開催している。若い人が積極的に活動しており、世代交代がうまくいっている。
- 群馬県支部：年 1 回の講演会を開催するのが恒例。「在宅医療と救急医療の連携は進んだのか？—新型コロナ流行四年目の春に考える—」をテーマにシンポジウムを開催した。今年度は、群馬県の認定薬剤師を中心に企画を練る。また、今後は若手・アカデミアの先生方を巻き込んで、活動を構築していきたい。
- 埼玉県支部：昨年、支部長・事務局・世話人何名かに交代があり、新しい体制となった。昨年第 17 回プライマリ・ケア研究会を開催。今年度は 11 月に、「地域を支える他職種連携 在宅医療と ACP の最前線」とのテーマで準備中。SPart という有志の組織での勉強会や、ゆるトークという交流会も活発。若手 SPart 会での勉強会も継続して開催している。
- 千葉県支部：10 月 27 日に千葉県プライマリ・ケア研究会と支部が合同で、例会と総会を現地にて開催予定。
- 東京都支部長：運営委員会を毎月オンラインで定例化した。毎月なにかしらの企画や交流

会開催を目標に今年度も活動する。東京都医師会長の尾崎先生にオンライン講演を行っていただく予定。

- 新潟県支部：2月にプライマリ・ケア研究会を開催した。
- 長野県支部：11月30日に長野県の地方会を開催予定。12月14日に合同ポートフォリオ発表会を開催予定。月1回、学生対象の総合診療に関する勉強会をZoomで開催している。

議題10：その他

- 第13回地方会のポスターが共有された。プログラム組みや、講師依頼を進めている状況。前夜祭なども企画している。

以上をもって、2024年度第1回の議員総会は終了となった。